

差別のよい明るいまちに

人権センター(大路二) ☎563-1177、☎563-7070

8050問題を知っていますか？

「8050問題」をご存じでしょうか。「80」は80歳の親、「50」は自立できない事情を抱える50歳代の子どもを指します。こうした親子が、社会から孤立することを「8050問題」と呼んでいます。代表的なものが「ひきこもり」です。以前は若者の問題とされていましたが、ひきこもりが長期化し、子どもの年齢が40歳代、50歳代と中高年世代になる一方、親も高齢化で働けなくなり、生活に困窮したり、社会から孤立したりする事例が、各地で報告されています。

ひきこもりって若い人だけなの？
これまでの調査では、「ひきこもり」を若者の問題として扱ってきたため、39歳までが調査対象でした。内閣府が、平成30年度に中高年(40～64歳)を対象にした調査を行ったところ、その年代で自宅に半年以上閉じこもっている人は、推計で約61万人いるという結果でした。中高年世代がひきこもるきっかけとしては、「退職」が最も多く、以下「人間関係」「病气」と続きます。また、若い頃の不登校や就職活動の失敗から、長期間にわたって、ひきこもりが続いているケースもあれば、60歳代になつてから、ひきこもるようになったという回答もありました。今回の調査では、ひきこもりが始まった年齢に、

を紹介する「草津テイクアウト・宅配グルメMAP」を作成されました。40店舗以上の飲食店が参加されており、マップは、市役所にも置いてあります。市ホームページからご覧いただけます。

提供される事業者様をはじめ、利用される皆様を元気づける取組であり、私もこのマップを見るだけで、勇気づけられています。

さらに、市ホームページでもご紹介しておりますが、多くの市民・事業者の皆様から、あたたかなご寄附をいただいております。医療機関への物資の提供や、感染防止、経済支援などの対策に、有効に活用させていただきます。

全国的にも感染者が減少しているとはいえ、まだまだ油断できず、長丁場になることが予想されます。この感染症により気付かされたことをチャンスと捉え、新しい生活スタイルに生かしながら、一日でも早く安心して過ごせる日が来るよう、みんなで心を一つに乗り越えていきましょう。

大きな偏りがみられなかったことから、「年齢に関係なく、ひきこもりになり得る」と考えられます。

孤立を防ぐために
ひきこもりの子と暮らす親を対象とした別の調査では、近所の人や親戚から「子どもは何をしているの?」と聞かれることが最もつらいという回答がありました。尋ねる側に悪気はなくても、聞かれた側は、後ろめたい気持ちになったり、責められているように受け取ったりしてしまい、誰にも相談できず孤立してしまう可能性があります。

ひきこもりは、年齢や性別に関係なく、誰にでも起こり得ることで、予断や偏見を持たないことが大切です。

当事者と接点を持つことは難しくても、その家族との接点を絶つことなく、「(話を)聴いてくれるまで(待つ)」「(思いを)聴く」の姿勢を持ち、あいさつや雑談を通してつながることが大切ではないでしょうか。家族のひきこもりで悩んでいる人がいたら、相談できる場所を紹介することも、みんなができることの一つです。市では、「人とくらしのサポートセンター(市役所1階)」で相談することができます。

市職員募集

第一次試験 7月12日(日) 市役所
採用予定 来年4月1日

試験内容および日程については、職種ごとに異なります。
詳しくは、受験案内や市ホームページをご覧ください。

保育士・幼稚園教諭A	
採用人数	7人程度
受験資格	平成4年4月2日～平成13年4月1日に生まれた人で、保育士資格および幼稚園教諭普通免許状があるか、来年3月31日までにそれらを取得する見込みの人
上級土木職、上級機械職	
採用人数	若干名
受験資格	平成2年4月2日～平成11年4月1日に生まれた人

保育士・幼稚園教諭B	
採用人数	若干名
受験資格	昭和46年4月2日～平成4年4月1日に生まれた人で、保育士資格および幼稚園教諭普通免許状があるか、来年3月31日までにそれらを取得する見込みの人
上級一般行政職については、9月に試験の実施を予定しています。詳細が決定次第、市ホームページなどでお知らせします。	
申・問	職員課(7階) ☎561-2314、☎561-2490



はしかわ市長の だいすき！くさつ ～出合いの365日～

新たな歩み—感謝とともに

水田に青空が映り、さわやかな風が心地よい季節となりました。この約3カ月、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

国の緊急事態宣言も、一部の地域を除き、5月14日に解除され、滋賀県でも、休業要請や施設の休館、イベントなどの自粛が段階的に解除されました。本市におきまして、図書館の再開や、小中学校・幼稚園の登校・登園を再開し、公共施設も順次開館しました。

経済的な支援については、特別定額給付金をはじめ、国制度や市の独自制度について、今号の2・3ページでご案内しております。すでに手続きが始まっている支援もござい

ますが、一日でも早く、皆様にお届けできるよう努めてまいりますので、ご確認ください。

終息の見通しや出口がなかなか見えない中ですが、市内では、大変心強い、さまざまな取組が始まっています。

一例を申し上げますと、ご家庭で食を楽しんでもらおうと、草津青年会議所が中心となり、草津市観光物産協会などが協力して、市内の飲食店を紹介する「草津テイクアウト・宅配グルメMAP」を作成されました。40店舗以上の飲食店が参加されており、マップは、市役所にも置いてあります。市ホームページからご覧いただけます。

提供される事業者様をはじめ、利用される皆様を元気づける取組であり、私もこのマップを見るだけで、勇気づけられています。

さらに、市ホームページでもご紹介しておりますが、多くの市民・事業者の皆様から、あたたかなご寄附をいただいております。医療機関への物資の提供や、感染防止、経済支援などの対策に、有効に活用させていただきます。

全国的にも感染者が減少しているとはいえ、まだまだ油断できず、長丁場になることが予想されます。この感染症により気付かされたことをチャンスと捉え、新しい生活スタイルに生かしながら、一日でも早く安心して過ごせる日が来るよう、みんなで心を一つに乗り越えていきましょう。



グルメMAP

※このメッセージは5月20日時点のものです

妊婦にマスクを配布します

新型コロナウイルス感染症防止や肺炎予防などを目的として、妊娠届の際に、マスクを妊婦1人あたり50枚ずつ配布しています(1回限り)。健やかな妊娠生活をお過ごしいただくために、お役立てください。

問 子育て相談センター
(さわやか保健センター3階)
☎561-2339、☎561-2491

草津テイクアウト・宅配グルメMAPを発行

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、売上などが落ち込んだ市内の飲食店を盛り上げようと、各店がテイクアウトや宅配サービスに取り組んでいます。
- そこで、草津青年会議所などが、企画や制作などを行い、各飲食店、草津市観光案内所などでMAPを配布しています。
- 問 商工観光労政課(4階)
☎561-2351、☎561-2486

ぜひご利用ください!



コロナに負けずに健康に乗り切ろう!

高齢者の人にとっては、新型コロナウイルス感染症予防とともに、健康を維持することが重要です。今できる工夫をしながら、健康管理に努めましょう。

◎健康を維持するためのポイント◎

①筋肉維持のために、ラジオ体操やスクワットなど自宅でできる体操や、人混みを避けて、屋外でのウォーキングなど、日の当たるところでの運動も有効です。できるだけ動かない時間を減らしましょう。

②3食しっかり食べて栄養をつけましょう。バランスの良い食事を心がけましょう。

③お口を清潔に保ちましょう。しっかり噛んで食べることで、できれば毎日おしゃべりをしたり、鼻歌を歌うこともオススメです。

④家族や友人との支え合いが大切です。電話を活用するなど、孤独を防ぐことを意識して交流しましょう。

問 長寿いきがい課(1階) ☎561-2372、☎561-2480